

# 正和会 視察研修 報告書

日 時 平成 29 年 1 月 25 日

場 所 群馬県前橋市 株式会社 ジーシーシー

報告者 乙津豊彦

## 正和会 視察研修報告書

- 日 時 平成 29 年 1 月 25 日 (水)
- 参加者 会長 乙津豊彦、  
議長 末次和夫、総務会長 武藤政義、政調会長 清水義朋、  
大野 聰、田村昌巳、串田金八、杉山行男、町田成司、  
幡垣正生、佐藤弘治
- 視察地 群馬県前橋市 株式会社 ジーシーシー
- 視察内容 1. 株式会社 ジーシーシー  
(1) データセンターとしての役割について  
① 会社の概要  
② データセンター  
③ セキュリティ対策  
(2) データセンターについて  
① 現地の視察  
② 作業のデモ

経緯 福生市では基幹系情報システムをアウトソーシングしている。受託先である株式会社ジーシーシーに赴き、現地を視察し説明を受けて安全性などを確認したいということから今回データセンターを視察することになった。

### 1. 株式会社ジーシーシーの概要

資料は用意されていなかったため、ホームページでの情報である。

#### (1) 株式会社ジーシーシーの概要

- ・ 代表住所  
群馬県前橋市天川大島町 1125
- ・ 設立年月日  
昭和 40 年 12 月 27 日 (1965 年)
- ・ 資本金  
9,000 万円
- ・ 売上高  
98 億 6000 万円 (平成 27 年度実績)
- ・ 従業員数  
590 名 (男子 465 名、女子 125 名) ※平成 28 年 2 月現在

- ・ 事業所所在地  
天川ファクトリエ（前橋市上大島町 96-3）他 12 カ所
- ・ 加盟団体  
一般社団法人 情報サービス産業協会  
一般社団法人 行政情報システム研究所  
地方公共団体情報システム機構  
一般社団法人 群馬県情報サービス産業協会  
一般社団法人 茨城県情報サービス産業協会  
公益社団法人 埼玉県情報サービス産業協会  
HITAC 情報サービスネットワーク協議会  
日立 I T ユーザ会

(2) 株式会社ジーシーシー出席者（名刺交換分）

代表取締役専務 町田 敦 様  
取締役 野上博治 様  
支店長 鈴木信貴 様  
その他説明員多数

(3) 研修テーマ

前述のとおり。

(4) 研修内容

説明、現地視察、質疑応答

2 台の車に分乗し、朝 10 時に市役所を出発、圏央道、関越道、北関東自動車道を経由して視察先に到着。途中上里 S A で昼食をとる。

本社近くの天川ファクトリエに着くと数人の社員が迎えてくれた。写真（ホームページ）のようなとてもモダンで新しい社屋である。

受付にはペッパー君も置いてあり、和ませてくれるが当日は機嫌が悪いのかあまりしゃべってくれなかった。

会議室に通され、専務からご挨拶をいただく。話の中で創業 50 周年を迎えプロモーションビデオを作成したとのことで放映された。50 周年を迎えるほど古くから活躍している企業とは知らなかった。ビデオの放映が終わって専務が涙ぐんでおられた。多くの苦労があったのではなかろうか。



GCCは（株）群馬電子計算センターとして昭和40年に設立され、昭和46年には選挙投開票集計システムの開発で自治大臣表彰を受けている。平成5年、CIを導入し、社名を「株式会社ジーシー」と改称する。平成18年、自治体ERPパッケージシステム『e-SUITE』の提供を開始した。福生市では平成23年度からこのシステムを使用している。

その後、歩いて5分ほどのところにあるデータセンターを視察した。今日は格別に気温が低いということで車を準備していただき送っていただいた。

写真の建物がセンターで奥の高い部分が実際のセンター部分である。下の写真が玄関部分で比較的小さい。ここは人の出入り口で物品は直接センターに搬入されると思われる。写真はここまで、中の様子は写真で伝えることはできない。



セキュリティの観点から入室には念入りなチェックが行われ、一人ひとり金属探知機を当てられた。全員問題なく入室ができたが、この後部屋に入るごとに有資格者のICカードと手の静脈認証を受けなければならない。



まず、玄関脇の監視室に案内された。ここには警備員が24時間365日常駐し、入退室の管理、監視カメラのチェック、地下に貯められた冷却水の温度管理などを行っている。

続いて、機械室に案内された。空調設備、停電時のCVCF、ガスタービン発電機などを見せていただく。3日間の停電に耐えられるとのこと。

いよいよデータセンターの中枢部、コンピュータ室に入る。現在ではラックに納められたパソコンと大して変わらないコンピュータが大量に納められている。どのラックがどのユーザかは明らかにはされていない。いずれかのラックが福生市の基幹系システムとして稼働しているはずだが明らかにはされない。しかも今年度からクラウドシステムに移行しているので全く分からない。あまり細かいことは質問しても答えてもらえない。正解！

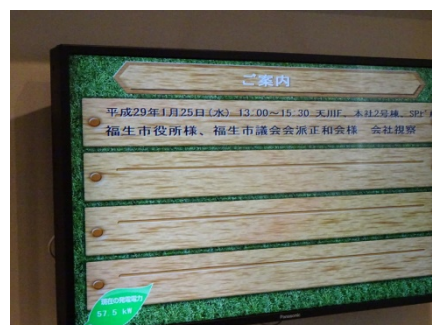
次に、プリンタルームに案内される。ここでは顧客が指定したフォーム用紙にもものすごいスピードで印刷してゆく。用紙を取り違えないように、指示書に書かれた記号と用紙の箱に書かれた記号を照合して作業を進めるとのこと。ここでは2枚折り、3枚折りの葉書状の書類も自動で折りたたみ、のり付けすることができる。実際の帳票を印刷しているので、個人情報保護の観点から近くに寄れない。それでも作業の内容を確認することができた。

別棟に案内され、印刷した帳票を揃え封筒に入れる作業を見させていただいた。とても賢い機械で、固定資産税の通知書・納付書のように3枚のり付け、納付書を個別に封入することができる。封筒に入れた後、厚さの検査、のり付けの検査なども機械で行う。信頼性の高さを実感した。

説明が終わり、質疑に移ったがその内容については正和会の報告書に委ねる。

私は、セキュリティに関する個人的な考え、またGCCでは顧客に対するセキュリティ教育に力をいれているので、当市に関しても積極的に提案して欲しいと要望した。

帰りがけ玄関の壁に掛けられたモニタに正和会視察の案内が出ていた。また、受付の机にはGCCで取得している各種スタンダードなどの看板が置かれていた。信頼できる企業ということが言えるだろう。



#### 報告者の感想

データセンターは思ったよりコンパクトに感じた。この場所は地震、水害等がまれな地と聞いている。工業団地と思しき一帯であり、安定した地盤なのだろう。センターは3階建てなのに15mほどの高さがあり、天井や床下に余裕のスペースがあるようだ。

質問はできなかったが、電源や回線は2重化されているとのこと。しかし、物理的に隔離されていることが重要で、単に2重化したから安全というわけでもない。説明でも言われたが人為的なトラブルが一番厄介なのだと思う。ハッカーのような知識も必要と思うし、従業員といえども勝手な振る舞いは許されない。

今後効率化の観点からクラウド化が進むと思われるが、行政においては「絶対」という言葉が無視することは許されない。コストとのせめぎ合いが続くのではないだろうか。

職員の知識に関しても専門職が必要な部署と認識している。すべて業者任せではいけない。このことに関してこれからも興味をもって研究してゆきたい。